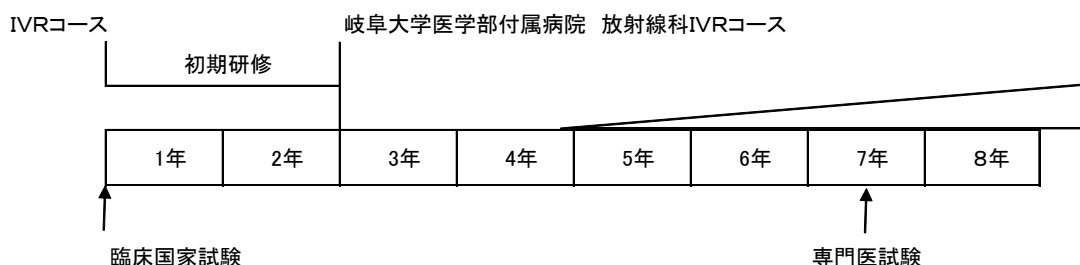


日本インターベンショナルラジオロジー学会専門医取得コース(放射線科)

(1) コースの全体像

日本インターベンショナルラジオロジー学会が定める IVR 専門医を取得するために、IVR の専門知識や技術を学ぶ。岐阜大学医学部附属病院放射線科では、肝細胞癌の TAE，ラジオ波焼灼療法，経皮経肝門脈枝塞栓術 (PTPE)，バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術 (B-RTO)，透析シャントインターベンション (VAIVT)，膿瘍ドレナージなどが習得できる。また、高次救命治療センターでは多くの重症症例を扱っており、交通外傷，動脈瘤出血，周産期出血などに対する緊急血管塞栓術を 24 時間体制で行っている。IVR 専門医の指導を受けながら IVR 技術を習得する。初期研修終了後から上記専門研修を開始する。日本インターベンショナルラジオロジー学会入会后 6 年目で IVR 専門医受験資格が得られる。



(2) コースの概要

大学病院・医療機関名	診療科名	専門分野名	指導者数	目的	養成(受入)人数	期間
岐阜大学医学部附属病院	放射線科	I V R	2 名	I V R 技術の取得	2 名	約 5 年
社会医療法人 厚生会 木沢記念病院	放射線科	I V R	2 名	I V R 技術の取得	若干名	約 5 年
岐阜県総合医療センター	放射線科	I V R	1 名	I V R 技術の取得	若干名	約 5 年
岐阜市民病院	放射線科	I V R	1 名	I V R 技術の取得	若干名	約 5 年
高山赤十字病院	放射線科	I V R	1 名	I V R 技術の取得	若干名	約 5 年

				受入人数	2名	
--	--	--	--	------	----	--

(3) コースの実績

放射線科では年間約 200 例の IVR 治療を行っている。肝細胞癌の TAE，ラジオ波焼灼療法，シヤントインターベンション，緊急止血術などを行っている。高次救命治療センターへ搬送される緊急症例に対しては放射線科スタッフを 3 チームに編成し，24 時間対応で緊急 IVR を行っている。

(4) コースの指導状況

日本 IVR 指導医の兼松雅之臨床教授が直接指導する。放射線科では IVR 治療を週 4 日行っている。1 年目では IVR の基礎知識と基本的手技を習得し，2 年目以降でファーストオペレーターとしての技術習得を行う。約 2 年間で一般的な IVR の手技を習得し，その後はさらに経験を増やし技術，知識の向上を目指す。

(5) 専門医の取得等

学会等名	日本インターベンショナルラジオロジー学会
資格名	IVR 専門医
資格要件	学会 5 年以上入会および 5 年間で 200 症例以上の治療経験
学会の連携等の概要	試験問題作成，試験官担当など，放射線科専門医試験制度に参画，協力している。